

みんなおめでとう。
なむあみだぶつ。

令和元年度 卒園児の皆さん

令和2月年 4月
浄宗寺だより
じょうしゅうじ

発行所 岡尾山 浄宗寺

〒731-3271 広島市安佐南区沼田町阿戸3143
Tel (082) 839-2075・Fax 839-3085にちようらいはい か き つきまい へんこう
日曜礼拝につき下記の月参りを変更することがあります。日曜礼拝は毎週
にちようあさ じはん まいしゅう
日曜朝8時半～。どなたでもどうぞ。4 / 5、12、19、26
5 / 3、10、17、24、31初参式の赤ちゃん募集
初参式は5/16(土)10時
お待ちしております。

竹の子のお斎(とき)。

竹の子聴聞 お経コンサート
竹の子のお斎
4 / 25 (土) 夕4時
昨年は聖人と恵信尼公の
七五〇回忌をしたので二
年ぶりの竹の子聴聞です。
お友だちを誘ってどうぞ。花まつり 保育園入園式
4 / 10 (金) 9時半
お釈迦さまのお誕生をお
祝いする花祭りと、入園
式と進級式をします。新旧役員交代会
4 / 4 (土) 昼12時
今回は5地区の総代さん
が交代されます。皆さま
お待ちしております。

令和2年度 浄宗寺 総代

総代長		國吉 弘史様
副総代長		橋本 宏一様
会計		小松 道則様
地区	旧総代	新総代
中央	寺岡 恒幸様	寺岡 恒幸様
三王	有馬 憲行様	有馬 正輝様
神原	下松 孝史様	下松 孝史様
忠央	谷 保 様	谷 保 様
竹下	橋本 宏一様	大中千代和様
横原	政 木 学 様	牧谷富士稔様
高浜	山田 則行様	在岡 孝行様
郷坂	吉本 幸三様	藤井 定登様

旧総代の皆さん、色々お世話になりました。有り難うございました。また引き続き総代をしてくださる方々、新総代さんの方々、これからよろしくお願いします。



境内にある 春に色づくもみじ

住職と坊守 去年の4月に聖人 恵信尼公750回忌

保育園65周年をしました。その後ある方が「法要の時に読まれたお言葉がよかったです」と言ってくださいました。裏に載せておきます。どうぞご覧ください。
坊 卒園おめでとう。コロナウイルスで少し特別な卒園式になったけど、また遊びにおいて。いつも梅組さんのおかげで楽しかったよ。み仏さまはいつも一緒だから、いつも南無阿弥陀仏だよ。謝々。

法座中止のポスターを見たある方が「彼岸が中止になってポツカリ穴が開いたようです」と言われました。尊いお言葉ありがとうございます。日曜礼拝にどうぞ(笑)

ダーナ募金 夢ハウス高陽様から浄宗寺報恩仏教婦人会にお礼状がきました。



沼田組 仏教研修会 別院 2/17



ボーイスカウトの集会



保育園の砂場が新しくなったよ

月	日	曜	時間	行事	講師
4	4	土	昼12時	新旧役員交代会	
	10	金	朝9時半	花まつりと保育園入園式	
	25	土	夕4時	竹の子聴聞	住職とその他大勢
5	15	金	昼1時、夜8時	降誕会法座	吉山法隆寺 森岡恵隆師
	16	土	朝10時	初参式と発表会	
			昼12時	ご高齢者お斎接待	

表 白

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要 惠信尼公七五〇回忌法要 慈光保育園六十五周年記念

敬つて

大慈大悲の阿弥陀如来の尊前に 白して言さく

本日ここに

恭しく仏前を莊嚴し 懇ろにを聖典を誦誦して

岡尾山浄宗寺 宗祖御開山親鸞聖人七五〇回大遠忌法要

また 惠信尼公七五〇回忌法要

並びに 慈光保育園六十五周年記念を 勤修し 奉る

聖人・惠信尼公

それ惟んみれば

親鸞聖人は 承安三年

日野の里に 御誕生 ましましけり

御年九歳にして 髪髪を剃除し

比叡山にのぼりて 二十年ご修行されり

然りといえども

生死解脱を得ず 凡夫出離の要道を求めて 源空聖を訪ね

二十九歳の時 ついに難行を棄てて 本願に帰し給いき

その後 承元元年 御年三十五歳のとき

念仏停止の法難に連座し 越後に赴き給う

苦難の中にありながらも 縁あつて 妻惠信尼公とご結婚され

免罪後 家族共々 閑東に赴きて

老若男女の念仏の行者を育て給う

然れども 悲しい哉

聖人は 弘長二年 仲冬下旬第八日

ついに念仏の息絶えて 往生浄土の素懷を遂げ給えり

時に 御年九十歳に 満ち給う

惠信尼公もまた 文永七年

ついに念仏の息絶えて 往生浄土の素懷を遂げ給えり

時に 御年八十九歳に 満ち給う

親鸞聖人と 惠信尼公は
禪容隠れましまして 七五〇年なりといえども
お二人の仏行を慕い 御同朋御同行
白道を歩み年とともに いのち輝き給う
保育園

時を超え 所を超えて

南無阿弥陀仏の声 安芸の国 戸山に響き

昭和二十九年 地域の方々の お力添いを得て

慈光保育園 開園す

以来六十五年 四海 皆兄弟の祖訓を体し

保育士も園児も保護者も みな仏の子として

皆共に 念仏の声 日を追って盛んなり

裏山整備・慈光会館

また 顧みれば

当山庫裏は 明治より

当地門徒の 懇念によつて建立されしも

長きにわたる 風雪の侵すところなり

その建て替えは 積年の宿願たりき

ゆえに

平成二十二年 門徒総会を開催し

建設実行委員会と 常任委員会を立ち上げ

新田建設株式会社様の ご協力により

ここに庫裏を 慈光会館として新築し

併せて 柳川建設株式会社様に

裏山を整備していただき

所縁がととのえ給えり

まとめ

願わくは

仏祖の冥加と有縁の方々の恩恵を謝し

自行化他 自信教人信の 聖訓に添い

ひたすら精進し 奉り

法義いよいよ盛んならんことを

時に

平成三十一年 四月二十日
岡尾山浄宗寺 第十五世 釋徳水
敬つて言す